

～ ロッテと西武学園文理中学校のコラボレーション ～

キャリア教育「お菓子の新製品を作ろう！」

今回新発売する『プラスXアソートボトル<BERRY³>』は、西武学園文理中学校でキャリア教育の一環として行われた『お菓子の新商品を作ろう！』という授業で、実際に生徒から出たアイデアをもとに商品化しました。

この特別授業は、西武学園文理中学校のキャリア教育担当の佐野和之先生が、生徒に親・教員以外の大人との接触の場を作りたいとの熱意から、同じ狭山市にある当社狭山工場を思い出し、当社の商品開発部が全面協力して今年の4月12日に中学3年生240人を対象にスタートしました。

【4月12日】

全体講義。3年生全員240人が集められ、当社の企業説明、商品についての説明が行われました。



【5月～6月】

商品コンセプトシートによる開発授業。プレゼンテーションの資料作成を6～7人の班に分かれてグループワークで授業を進めました。

【6月28日】

各クラスでグループごとのプレゼンテーションが行われました。西武文理の先生と当社社員で採点を行い、優秀な10班を選出しました。この10班は学園祭で発表を行うことになりました。



【9月9日】

文化祭当日です。開場と同時に生徒や父兄で満席になるなか、4月からの特別授業の総決算となるプレゼンテーションが行われました。最優秀賞には古古米を使用して、商品には絶滅危惧の動物をデザインし、売上の一部をNPO団体に寄与するという「アニマルサク×②」が選ばれました。



【7月19日】

選ばれた10班が学年全体の前で発表を行いました。講堂でのプレゼンにあたり、PCでパワーポイントを使用しました。初めて聞く他のクラス代表のプレゼンに刺激を受けあいました。



こうして、半年に渡って行ってきた西武学園文理中学校での授業は終了しました。生徒たちにとっては、仕事というものに関して新しい認識を持つ格好の機会になったのではないのでしょうか。当社にとっても中学生と実際に触れ合うことで菓子の重要なターゲットに対する理解を深め、新商品の開発の参考になりました。

『キャリア教育を実践して』

西武学園文理中学校 佐野和之 教諭

今回ロッテ商品開発部の方の全面的な協力の下、実践することができた「お菓子の新商品を作ろう！」という授業には以下のような想いが込めてありました。

1. 親、教員以外の大人との接触の場を学園内に作ること
2. 世の中すべてのものが教材になるということに気付かせること
3. 他人の意見が聞け、自分の意見を主張するコミュニケーションの場をつくること

現在の教育に不足しがちな三大栄養素を取り入れ、さらに生徒たちにとって「面白い」と自発的同期を促せる企画にしました。ロッテの方をはじめ、多くの大人の参加によって、生徒たちも燃え、多くの学びとともにプレゼンテーション授業をすることができました。